

すて〜じ通信

発行 令和元年5月 第25号

〒052-0014 北海道伊達市舟岡町334番地9 あい・ぷらざ1F

社会福祉法人北海道社会福祉事業団

胆振日高障がい者就業・生活支援センター すて〜じ

[伊達] Tel / 0142-82-3930 fax / 0142-82-3933

[苫小牧] Tel / 0144-56-5119 fax / 0144-56-5344

E-mail / stage@dofukuji.or.jp

『令和元年の吉報』

胆振日高障がい者就業・生活支援センターすて〜じ
センター長 今野さおり

元号が変わってほどなくした5月8日(水曜日)、当所に嬉しいお知らせが届きました。

かねてから交際同居していたMさんとYさんが、交際2年記念日のこの日に入籍し、晴れて夫婦となったのです。

親御さんはもとより、我われスタッフもとても嬉しく、同行した私も『なんちゃって母』になりきり、所構わず記念の写真を撮影しまくりました。

入籍後、それぞれの会社に報告のために訪問しましたが、社長さんを始めとする従業員の方々からも祝福され、お二人にとって、最高の門出となりました。

また、先日、ジュンブライドのブライダルフォトを撮影するため市内のホテルに衣装合わせに行きましたが、生涯一度のこととお二人ともに衣装も迷いに迷って、かわいらしいドレスに決めました。お二人の絶えることのないキラキラ笑顔に、春の陽気のようにほんわり癒やされたひとときでした。



さて、平成最後の4月、すて〜じも無事にスタートしました。

今年度新しい事業として「障害が窺われる生活困窮者等への支援」を受託し、自立相談支援事業やケースワーカーから支援依頼があった時、関係機関と連携しながら支援を行うほか、昨年度同様、1. 出張相談の実施～毎月1回、3市2町で行政の相談室を使用しての実施 2. 就労定着支援の強化・実施 3. 働くことと余暇支援の充実～各地区で働く仲間の集いの実施、苫小牧市で毎月「はたレク」の開催 4. その他～各地区職親会及び関係機関との連携、就労セミナーの開催、伊達・室蘭、苫小牧、静内・浦河地区ハローワークとの毎月1回の定例会議実施 5. 中小企業における障がい者雇用担当者支援研修会等々を考えております。

スタッフは大きな異動等もなく、就労支援・生活支援担当5名でスタートいたします。

年齢的には30代後半から40代後半でややフレッシュさには欠けますが、相談支援歴としてはベテラン揃いです(笑)。

みなさまお一人おひとりに必要な支援が届けられるよう、スタッフ一丸となって取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



事業所紹介リレー

今年度も事業所紹介をさせていただき、事業所間の交流等に努めてまいりますのでご協力をお願いいたします。

NPO 法人室蘭市手をつなぐ育成会

むろらんワークセンター岬（従たる事業所：福祉の店ドリームベーカリー）

〒051-0003 室蘭市母恋南町2丁目22番3号

☎ 0143-22-5671 FAX 0143-22-5672

むろらんワークセンター岬では就労継続支援B型を運営をしています。就労支援事業として、むろらんワークセンター岬では、椎茸の栽培、菓子（クッキーやマドレーヌ・パウンドケーキなど）製造、印刷業務、請負い作業（電子部品加工、保冷剤製造など）を行っており、福祉の店ドリームベーカリーではパンの製造をメインに菓子製造を行なっています。

通所される利用者さんには個々の特性や希望に合わせて作業を選択していただき、社会自立へ向けての支援や就労へ向けての支援などを行っております。また、春のハイキングや秋のバス旅行などの行事を開催し作業以外での交流も深めながら楽しい時間作りも行なっています。法人運営の「地域の中で安心して暮らせる環境を求めて」をモットーに、作業を通じてひとりひとりが有意義に充実した社会生活を過ごせるよう支援を心がけていきたいと考えております。



永光は苫小牧市内北栄町（沼ノ端）の住宅街に位置し、近隣にはスポーツセンターや交流センター等の公共施設、医療機関、コンビニなどの商店も点在し、生活の便の良い地域に立地しています。また地域自体がノーマライゼーションモデル地区となっていて温かく見守っていただいていることを実感します。

永光は多機能型（施設入所支援定員30名、生活介護定員32名、就労移行定員6名、就労継続B型定員10名、自立訓練定員6名、宿泊型自立訓練定員10名）の事業所として就労の機会の提供、日中活動の提供、社会自立に向けた取り組みなどを日々行っています。

施設入所では日常生活の支援を提供。生活介護事業では体力づくりやレク的な活動を中心に新聞販売店の委託を受け、地域へのチラシ配布。就労移行事業では他法人の清掃業務を通して社会的なマナーを学びながら2年間の利用期間の中で就職に向けての取り組みを行っています。就労継続B型事業においては運輸会社からの委託作業としてテントシートの清掃作業に取り組んでいます。宿泊型自立訓練においては2年間の利用期間の中で地域での生活を目指し、日中は就労移行、自立訓練を利用しながら取り組んでいます。

ひとりひとりの個性に合わせた支援を、そしてひとりひとりが望む生活に少しでも近づいていけるよう私たち支援スタッフは「心に寄り添い、笑顔でサポート」をモットーに日々の支援にあたっています。



（社福）緑星の里 永光
苫小牧市北栄町3丁目11-13
TEL 0144-53-1231
FAX 0144-53-1533

さるがわの定員は35名、現在32名の方が利用しております。

作業内容は、山わさびの栽培、出荷 原木しいたけの生産、販売 籾殻くん炭の製作、販売 木工製品の製作、販売 二風谷コタン施設内でのカフェ運営 ニセウ・エコランド施設内環境整備をおこなっています。7月からも病院の清掃業務も取り入れていく予定です。

今回は二風谷コタン休憩施設、木工レーザー彫刻機を紹介いたします。

二風谷コタンは4月13日ウレシパ、カフェ（休憩施設）が同時にオープンとなりました。

カフェでは、コーヒーはもちろんのこと、ジュース類、ソフトクリーム各種の提供他、平取和牛カレー等など、特産品も販売しております。

始めたばかりなので職員と利用者が悪戦苦闘しながら楽しくおこなっております。



木工事業で昨年11月にレーザー彫刻機を導入し、木、皮、アクリル板、紙などの切断、彫刻をおこないます。導入後は他事業所、町役場より看板、名札、オーナメント、等の見積り、ご注文を頂いております。

平取町にお越しの際は、カフェでコーヒーを飲み一息ついてみてはいかがでしょうか。

また、レーザーでの彫刻で「こういうものができませんか」のご連絡お待ちしております。

（社福）平取福祉会

指定就労継続支援事業所 さるがわ

〒055-1411

沙流郡平取町振内町97-1

TEL01457-3-3676

FAX01457-3-3677



第1回 胆振日高圏域就労支援事業所連絡会議

令和元年5月21日（火）13:00～15:30 参加者31名

苫小牧地域福祉支援センター1F 研修室にて

議題）1. 就労支援事業所における現状と課題

- ・運営上の課題について
- ・施設外就労について
- ・その他

2. すて～じの令和元年度体制及び事業について

3. 企業就労に関する情報提供

4. その他



前年度までは「就労移行支援事業所連絡会議」として開催していましたが今回の会議ですが、事前に情報提供として回答いただいた資料をもとに事業所間の情報共有や意見交換等行うことができました。今後も会議開催の際に回答書等ご協力いただく事もあると思いますが、よろしくお願いいたします。



★スタッフ紹介★

今年度の体制はこうになりました。よろしくお願いいたします。

センター長 今野さおり 《西胆振・東胆振・日高》

《すて〜じ伊達》

就業支援担当... 猪股 武

生活支援担当... 本村奈美江

《すて〜じ苫小牧》

就業支援担当... 猪股正寛

就業支援担当... 藤信千晶

平成 31 年度 年間予定

6 月 第 1 回雇用支援地域合同会議

7 月 ピアサポート集会

8 月 働く仲間の集い in 苫小牧

9 月 中小企業支援セミナー（苫小牧）

10 月 働く仲間の集い in 日高

11 月 雇用支援地域合同会議（西、東胆振、日高）

12 月 働く仲間の集い in 室蘭

1 月 中小企業支援セミナー（日高）

2 月 第 2 回就労支援事業所連絡会議

あとがき



「平成」から「令和」へ...私が社会人になったのが「昭和」から「平成」に変わったとき、昭和 64 年 1 月郵便局でバイトをしながら小淵官房長官（当時）が平成の額縁を持っていたのを見ながら「フーン」と関心もなく見ていた時からはや 30 年余り。どうりでここ最近は何を感じるが増えたな〜と思う日々を過ごしています。自分の中で「令和」が馴染むまでに時間がかかると思うので送付文書の元号を間違えないようにがんばります。 《M.I》

『変わる』 = 『好機』 ↗

CHANGE

